

原 著

待合室で手術終了を待つ患者家族へのかかわり —不安軽減のため術中訪問を実施して—

遠藤 弘子* 川田 由美子* 中島 忍*

待合室で手術終了を待つ患者家族の姿を見て、具体的な看護援助をしたいと考え、研究をはじめた。当手術室の待合室で待たれている患者家族へのアンケートを基に看護援助として、術中訪問を行っていった。患者家族のニーズは、患者の無事を祈り、患者の状態を教えて欲しいということがわかった。術中訪問を行うことで、患者家族の不安軽減につながった。

キーワード：術中訪問、手術待合室、不安軽減、患者家族

はじめに

手術室のドアが開くたびに、待合室のベンチから立ちあがり、不安そうな顔でぞきこむ家族の姿を、必ずといっていいほど見かける。「なにか私達にできることはないか」と思っていたが、具体的な援助は何も行われていないのが現状である。

不安について岡堂¹⁾は「落ち着かず、緊張感や心悸亢進、めまいなどの生理的随伴症状を伴った漠然とした恐れ」と述べている。待合室の家族はまさにこのような状況で手術終了を待っている。家族は患者をとりまく環境のひとつであり援助の対象である。しかし手術室における家族との関わりについてふれている研究、文献はあまりに少ない。

私達は家族のニーズを知る目的でアンケート調査を行なった。その結果家族は「不安だから手術中の患者の状態を教えてほしい」と希望していることを知った。このことから、術中訪問を計画、実践し、今後の示唆を得ることができたので、ここに報告する。

◎言葉の定義

術中訪問とは…手術中に待合室にて手術終了を待つ患者家族を看護婦が訪問し、手術患者の情報を提供すること。

今回は、術前訪問を行っており、手術件数の多い、外科の全身麻酔下の開腹手術をうける患者を待つ患者家族を対象に、ある程度手術の見通しがつき、間接介助看護婦の時間的に余裕のある、吻合時に術中訪問を

行なう。

1. 研究目的

- ①アンケートにより、手術終了を待つ患者家族のニーズを知る。
- ②待合室で手術終了を待つ患者家族の不安の軽減ができる。

2. 研究期間

・平成10年6月～平成11年2月

3. 研究方法

研究を進めるにあたり、第一段階～第二段階へと進めていく。

<第一段階>

- ・岡堂氏²⁾が述べている「家族の持つニーズを基にアンケート（資料A）を作成。
- ・待合室で手術終了を待つ家族を無作為に抽出（45名）アンケートを配布、回収。

<第二段階>

- ・アンケート結果より明らかになったニーズを満たすため術中訪問マニュアル（資料B）を作成。
- ・外科の全身麻酔下の開腹手術をうける患者家族（15症例37名）に術中訪問を実施。

- a 術前訪問時に手術予定時間を確認
- b 事前に主治医に術中訪問について許可を得る
- c 検体がとれ、吻合時に術中訪問を行なう
- d 間接介助看護婦が待合室にてマニュアルにそって説明

- ・術中訪問終了後アンケートを配布、回収。

*〒940-8653 新潟県長岡市福住2丁目1番5号
長岡中央総合病院看護部（手術室）

※術式変更など異常時には主治医より説明

4. 結果

<第一段階より> アンケート回収率100%

△資料Aより抜粋

問2より・早く無事に終わってほしい

- ・手術はうまくいっているか
- ・不安、心配です

問3より

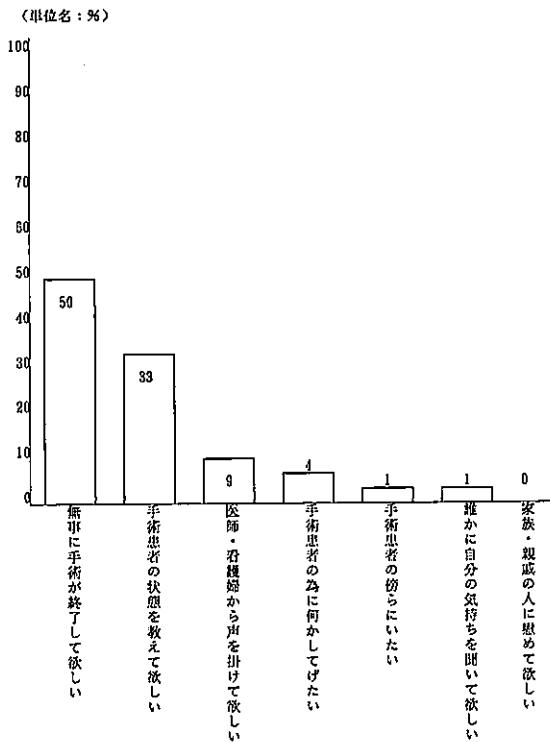


図2 手術中に家族が望むこと

以上の様な結果となり、患者家族は不安を抱えながら手術終了を待っており、無事手術が終了して欲しい50%、手術の患者の状態を教えて欲しい33%、医師・看護婦から声をかけて欲しい9%であった。

<第二段階より> アンケート回収率100%

資料Cより抜粋

患者さんの状態・手術の進行状況を聞くことにより不安は和らぎましたか？

(回答数 15症例 37名)

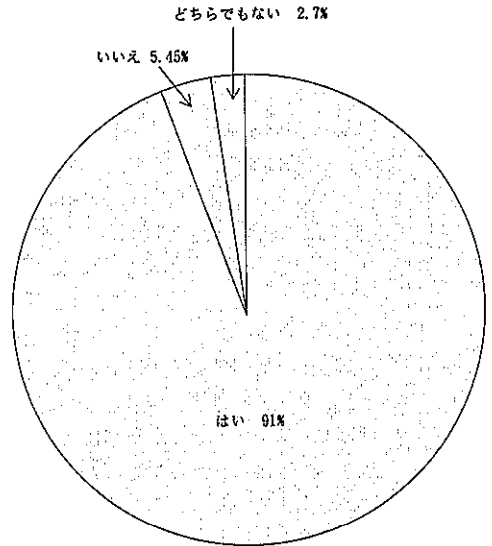


図3 術中訪問後のアンケート結果

5. 考察

資料Aのアンケートの結果より、当院の手術終了を待つ患者家族の気持ちを知り、「手術中の患者の状態をおしえてほしい」というニーズに注目した。待合室で患者と離れ、ひたすら患者の無事を祈り待つ、何もしないで、ただ待つだけの時間とはどのようなものだろうか？野村³⁾は「手術を待つという体験を、長く苦しい時間、苦しみが増す瞬間」と述べている。そのような苦しく不安な状態にある家族に対し、術中訪問という形で関わりを試みた。術中訪問実施後のアンケートの結果により、不安が軽減したという答えがかなり高い数値になった。又、術中訪問の内容的には時間的なことが主であり、家族がものたりなさを感じるのではと考えたが、実際に悪性の有無など、尋ねてくる家族は少数で、殆どの家族は、ほっとし、安堵の表情になった。術中訪問により、家族が何もできない、時が止まったように感じる状態に、手術は着実に進んでいる情報を得ることで、不安が軽減したと考える。

波多野ら⁴⁾は「患者だけでなく家族もまた、患者の疾病・入院により多かれ少なかれ、不安を感じ、精神

的脅威にさらされる。(中略)検査や処置(手術)などに耐えられるかといった不安である。」と述べている。術中訪問で看護婦がかかわることにより、患者家族は情報を得て会話をすることができ、不安の軽減に繋がったと考える。

術中訪問を行い患者家族と接し、直接反応にふれることにより、看護婦側の意欲も高まった。また医師からも「どんな反応だった?」と尋ねられることもあり、手術室における家族に対する関心が高まったといえる。

しかし、今回術中訪問を行い問題点が明らかになった。一つは術中訪問を行なう時間についてである。吻合時で良かったのか? 予定時間より遅くなった場合、その時点でも訪問が必要になっていくのではないか。もうひとつは術中訪問時の患者家族のプライバシーについてである。今回私達は、待合室の出入り口で家族を呼び、術中訪問を行った。他の患者家族には聞こえないように、少し離れたところで行ったが、今後、他の患者家族への配慮も含め、患者家族のプライバシーについて考えていく必要がある。

また、資料Aの問4の予定、緊急手術の項目において、緊急手術は7%と低い割合ではあったが、家族のコメントには「まだかな、まだかなと気になっていた」「早く終わってほしい」などの切実な気持ちが書かれており、緊急手術時の術中訪問マニュアルも作成する必要があると考える。

トラベルピー⁵⁾は「不安の解消は、必要な情報の供給と安心を与えることによって達成される。」と述べている。今回の術中訪問ですべて必要な情報を提供できたとは言えず内容・方法共に再検討をする必要がある。

この研究を基に、今後、より効果的な術中訪問ができるようにしていきたい。

6. 結 論

①アンケート調査で患者家族のニードは、無事に手術を終了してほしい50%、手術患者の状態を教えて欲し

い33%、医師、看護婦から声をかけて欲しい9%であった。

②家族の不安軽減のために術中訪問は効果的であった。

③今後、より効果的な術中訪問を行なうため、更に数多くの症例をとり、検討していく必要がある。

④医師との連携をとりながら、患者、家族の個性を重視した、術中訪問が求められる。

おわりに

今回の研究において、「家族」という言葉の定義づけが甘く、不十分であった。また、家族のニードを知る目的で行ったアンケートにおいて、疾患別、年齢別などの限定をしなかった点は、反省すべきところである。

しかし、術中訪問を行い、看護婦、医師の家族に対する関心は高まった。

今後の課題も多いが、これらを生かし更に効果的に充実した術中訪問の実現にむけ、努力していきたい。

最後にこの研究にあたりご指導、ご協力くださった当手術室スタッフ、外科医師に深く感謝し、この研究を終わる。

引用文献

- 1) 2) 岡堂哲雄ら：危機的患者の心理と看護 中央法規出版
- 3) 野村美香：手術を待つ家族の体験と看護 オペナリング vol.14 no.5 p92~94
- 4) 波多野梗子ら：患者・家族への援助と看護婦の役割 医学書院 p38
- 5) トラベルピー：人間対人間の看護 医学書院 p304

参考文献

- 1) 村田恵子ら：術中訪問による患者家族への精神的援助 オペナリング vol.13 no.6

(資料)

●資料A：第一段階のアンケートとその結果

問1. 待合室ではどのようにして過ごされましたか

(単位名：%)

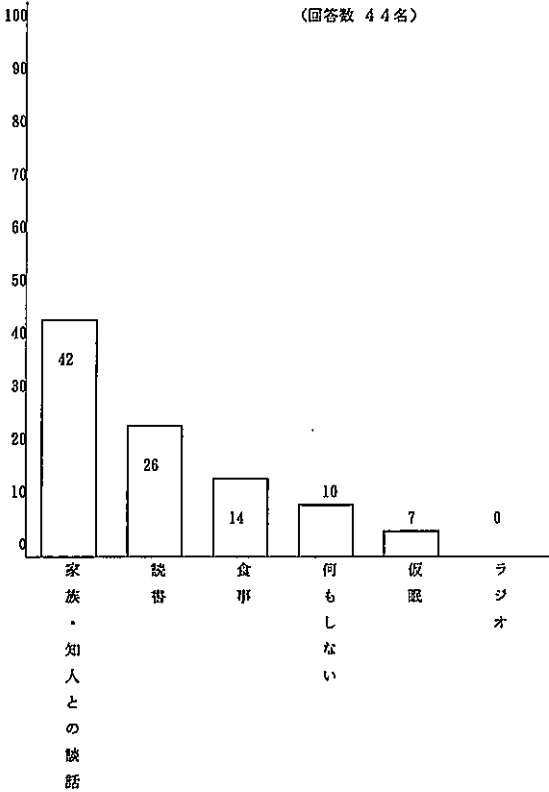


図1 待合室での過ごし方

問2. どのような気持ちでお待ちでしたか

- ・早く無事に終わってほしい
- ・手術はうまくいっているのだろうか
- ・不安、心配です
- ・待ち時間が長く感じられる
- ・手術予定時間よりも長くかかっているのが不安です
- ・先生にお任せしています
- ・落ち着かない
- ・祈っています

問3. 何か望まれることはありますか

(単位名：%)

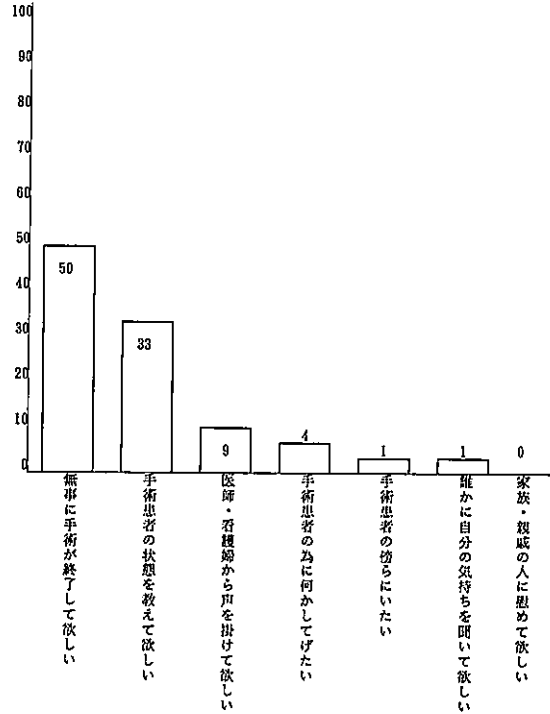


図2 手術中に家族が望むこと

問4. 今日の手術は予定手術ですか緊急手術ですか

1. 予定手術 42名
2. 緊急手術 3名

資料B：患者家族に術中訪問を行なう時のマニュアル

1. 待合室にて「〇〇さんの御家族の方いらっしゃいますか」と呼んで、入口付近に来ていただく。
2. 自己紹介を行なう。(不安を与えないよう笑顔で)
3. 心配のところお呼びたてしてすみません。手術の経過を説明させていただきます。

〇〇さんの手術はー

①△△もとれまして、順調にすすんでいます。予定時間内には終わりそうです。

②細かいところに時間がかかりましたが、今は順調に進んでいます。予定時間を過ぎるかもしれません。と、状況により①②を使い分けてください。(主治医と内容を確認のもとで)

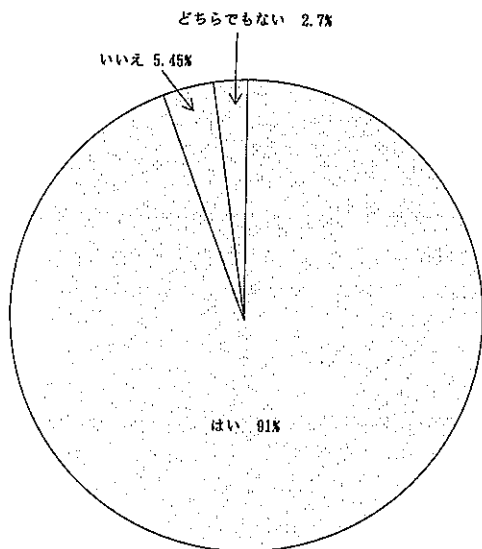
※良性が悪性かなど細かい手術内容を聞かれたら、「手術終了時に主治医より説明があります」とつたえてください。

4. アンケート用紙を集まった方全員に渡して下さい。その際「すみませんが、私達は今この待合室で手術が終わるのを待つ家族の皆様、手術の状況をお知らせしています。今回の感想を、申し訳ありませんが、このアンケートに書いていただきたいのですが、お願いできますか？」という内容の事を伝え、書きおわったらアンケートボックスにいれてもらうよう説明してください。

資料C：第2段階のアンケートとその結果

問1. 患者さんの状態、手術の進行状況を聞くことにより、不安は和らぎましたか

(回答数 15症例 37名)



問2. 何か知りたいことはありましたか

- ・途中までの経過を聞かされて少し安心しました
- ・もう少し詳しいことが知りたかった
- ・手術時間はあらかじめ聞いていましたが、時間が長かかったときに心配になりますので、もう少し早い時間に状態を聞かせて下さい

図3 術中訪問後のアンケート結果

資料B：患者家族に術中訪問を行なう時のマニュアル

1. 待合室にて「〇〇さんの御家族の方いらっしゃいますか」と呼んで、入口付近に来ていただく。
2. 自己紹介を行なう。(不安を与えないよう笑顔で)
3. 心配のところお呼びたてしてすみません。手術の経過を説明させていただきます。

〇〇さんの手術は—

①△△もとれまして、順調にすすんでいます。予定時間内には終わりそうです。

②細かいところに時間がかかりましたが、今は順調に進んでいます。予定時間を過ぎるかもしれません。と、状況により①②を使い分けてください。(主治医と内容を確認のもとで)

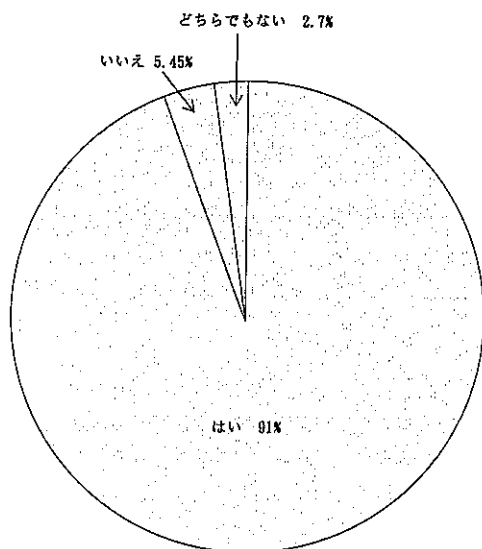
※良性か悪性かなど細かい手術内容を聞かれたら、「手術終了時に主治医より説明があります」とつたえてください。

4. アンケート用紙を集まった方全員に渡して下さい。その際「すみませんが、私達は今この待合室で手術が終わるのを待つ家族の皆様、手術の状況をお知らせしています。今回の感想を、申し訳ありませんが、このアンケートに書いていただきたいのですが、お願いできますか？」という内容の事を伝え、書きおわったらアンケートボックスに入れてもらうよう説明してください。

資料C：第2段階のアンケートとその結果

問1. 患者さんの状態、手術の進行状況を聞くことにより、不安は和らぎましたか

(回答数 15症例 37名)



問2. 何か知りたいことはありましたか

- ・途中までの経過を聞かされて少し安心しました
- ・もう少し詳しいことが知りたかった
- ・手術時間はあらかじめ聞いていましたが、時間が長かかったときに心配になりますので、もう少し早い時間に状態を聞かせて下さい

図3 術中訪問後のアンケート結果

Original Article

Nursing assistance to patients' families in the waiting room during operations. Visits during the operation to alleviate their anxiety.

Hiroko Endo*, Yumiko Kawada*, and Shinobu Nakajima*

We instituted a study in a desire to provide substantive nursing assistance to patients' families seen in the waiting room waiting for the operation to be completed. We have been conducting visits during operations in the form nursing assistance on the basis of the results of a questionnaire survey of patients' families waiting in the waiting room of our hospital's operating room. The families' needs were found to consist of praying for the patient's safety, and desiring to be informed of the patient's condition. Visits during the operation relieved the anxiety of patients' families.

Key words : visits during operations, operation waiting room, anxiety alleviation, patients' families

**Department of Nursing (Operating Room), Nagaoka Chujo General Hospital
Fukuzumi2-1-5, Nagaoka, Niigata940-8653*